

ビオチニル-GHK, パンテノール

機能:

まつげコンディショナー

定義:

プロビタミンB5によりビタミン化したマトリカイン

biotinyl-Gly-His-Lys

特性:

Widelash™ は、まつげを長く、濃く、強くする。

特徴:

Widelash™ は、接着分子ラミニン-5とコラーゲンIVの合成と組織化を刺激することにより、毛球ケラチノサイトの増殖を促進し、毛を固定をさせる。

ポイント:

体内に自然に存在しているトリペプチドGHKは、外傷治癒の過程を促進する。

INCI (表示名称):

Glycerin (グリセリン)、
Water (水)、
Panthenol (パンテノール)、
Biotinoyl Tripeptide-1 (ビオチノイルトリペプチド-1)

用途:

マスカラ、まつげ美容液、
アイメーキャップリムーバー

処方:

水溶性

推奨濃度:

2%

特許:

FR 2 974 297

WO 2012/143845

EP 2 699 223

The eyelashes so longed for

Naturally
3 times
more volume in just
15 days



T0



T30

長さ
直径

+17% 最大 43%
+19% 最大 40%

実証データ

In vitro テスト

● 有糸分裂率

毛包培養14日後の根鞘ケラチノサイトでの評価。ビオチニル-GHK(2ppm)はKi-67発現を刺激し、細胞を増殖させる。

● 毛の成長刺激

2 ppm、5 ppm ビオチニル-GHKを加え、14日間毛包を培養。

● 毛の固定

毛包にビオチニル-GHK(2 ppm)を加えて14日間培養

-真皮/根鞘ジャンクションの形態学的観察

真皮/根鞘ジャンクションは厚みを増し、正常な正弦波形へ回復する

-免疫蛍光によるラミニン-5とIV型コラーゲンの発現

接着分子の存在		
接着分子	T14 コントロール	T14 ビオチニル-GHK
ラミニン-5	+	+++
IV型コラーゲン	+	++++

毛の成長刺激



T14 コントロール



T14 ビオチニル-GHK 2 ppm

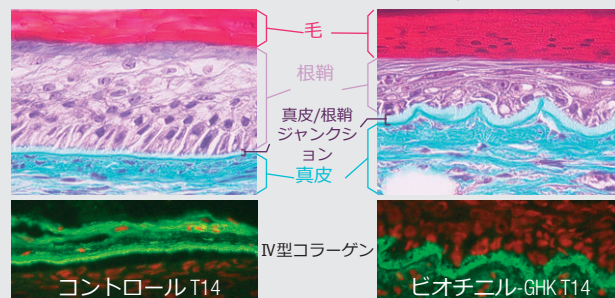
+58 %/T0



T14 ビオチニル-GHK 5 ppm

+121 %/T0

形態学的観察



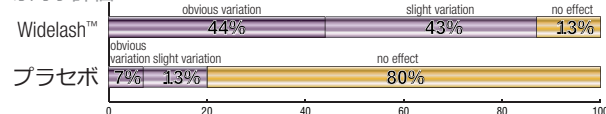
臨床試験

30名の女性ボランティアに、Widelash™ 2%配合マスカラと対照にプラセボマスカラをそれぞれ片目ずつ塗布してもらい臨床試験を実施。開始前、15日後、30日後のイメージ画像を測定。30日後に専門家と自己による評価を行った。

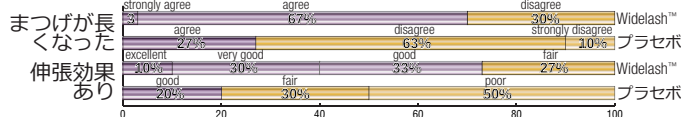
● まつげの長さ

- T15 日 +11 %/T0, $p < 0.001$, 最大 +32 %, x2.6/プラセボ
- T30 日 +17 %/T0, $p < 0.001$, 最大 +43 %, x2.7/プラセボ

専門家評価



自己評価

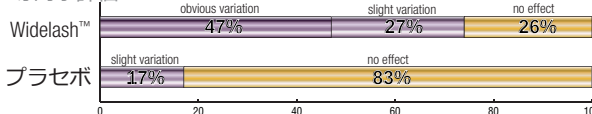


Widelash™ は、まつげを強く長くする。

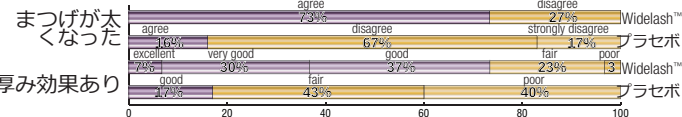
● まつげの直径

- T15 日 +12 %/T0, $p < 0.001$, 最大 +33 %, x2.9/プラセボ
- T30 日 +19 %/T0, $p < 0.001$, 最大 +40 %, x2.6/プラセボ

専門家評価



自己評価

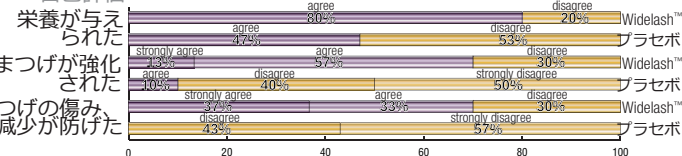


● 増強効果

まつげの減少：

- T15 日 -3.7 まつげ/プラセボ, $p < 0.001$
- T30 日 -9.1 まつげ/プラセボ, $p < 0.001$

自己評価



Formulation

Primer mascara with WIDELASH™

Suggested formula Ref.: SFD10119111

Part A.....%	水酸化Na 30 %	0.35
精製水	40.00	
Optasense™ G83 (カルボマー, Croda)	0.30	
Part B.....%	防腐剤	qs
精製水	qsp 100	
PVP K30	2.00	
Part C.....%	Natrosol 250 M (ヒドロキシエチルセルロース, Aqualon)	0.75
ソルビン酸K	0.10	
Part D.....%	Part E.....%	
精製水	3.50	

Part F.....%	エタノール	5.00
Part G.....%	Widelash™ (Sederma)	2.00

Part H.....%	香料 (Douceur Bleuett) (Expressions Parfumées)	0.10
--------------	--	------

製造方法: Part A: 水にカルボマーを分散し1時間膨潤させる。Part B: 水にPVP K30を分散し、30分間攪拌 (s=600 rpm) する。Part CにPart Aを加え攪拌 (s=500 rpm) する。Part A+CへPart Dを加え攪拌 (s=200 rpm) する。Part Eを秤量する。Part EとPart Bを合わせ攪拌 (s=500 rpm) し、30分間膨潤させる。Part A+C+D+Part B+Eを加え攪拌 (s=200 rpm) し、よく混ぜる。Part Fを加えよく混ぜる。pHを確認。Part Gを加えよく混ぜる。さらにPart Hを加えよく混ぜる。

無保証：この処方について安定性試験を行い、効能が良好であることを確かめています。しかしながら、この処方を用いる処方担当者は、独自の処方での長期的な安定性や有効性について確認してください。また、上市前に最終処方での安定性試験を実施してください。特許に抵触することにかかわるご使用はお止めください。

sederma

クロードジャパン株式会社
www.croda.jp
info-tec@croda.com

無保証：この公表した情報は誠意を持って提供するものですが、完全性や正確性について一切表明、保証するものではなく、利用者や処方開発者に提案するものです。利用者はご自身の特定の目的に用いることについて弊社の製品が適合するか責任を持ってご判断ください。特定の用途について保証、商品適格性、適正性を限定なく表明、保証するものでなく、第三者の特許、著作権、商標、意匠を含む知的財産権について抵触しないことを、限定なく表明、保証するものでもありません。ここで識別される商標は、特に明記しない限り、クロードグループの商標です。©2020 Sederma 09/20 PCS PQ 28058 18 V3 JP
Sederma の書面による事前の承認なしに本書の全てまたは部分の複写を厳しく禁止します。